

## 街に出るクマ ～アーバンベアとどう付き合うか～

活動地域



### 課題

近年クマの市街地出没が増えているが、その情報整理と対策は十分ではない。奥山でクマを保全し、市街地で人の安全を守る「ゾーニング管理」の普及と環境整備が課題である。

### 目標

クマが市街地に出没する要因や対策の必要性を理解できる住民を増やすと同時に、地域が主体的に出没対策を行い、継続的に普及啓発活動を実行できるようにする。



### 今後の展望

これまで得たクマの市街地出没の解析結果から事例集を作成する。また、地域住民の意識向上させるレクチャーやクマトランクキットの担い手育成講座を引き続き開催し、アーバンベア対策の基盤を整える。

ひろげる助成  
**2年目**  
調査研究

シンポジウムの登録者  
**320人**

クマトランクキットの  
作成  
**4個**

今年度計画の達成度  
**90%**

目標達成度  
**60%**

### 活動内容と成果

- 全国約80件のクマの市街地出没事例と現地調査から情報解析を行い、出没時対応の考察を行った
- モデル地域にて野外ワークショップを行い、当事者意識を醸成するヒントとなるレポートを作成した
- 普及啓発人材育成講座をモデル地域で実施した
- クマの普及啓発用の無料貸し出し教材トランクキットを4個作成するとともにアーバンベア問題解決に向けた新規の教材を追加した。また、YouTubeに動画を2本公開した
- 普及啓発に関するシンポジウムを開催するとともに、HP及びFacebookで情報発信を行った



### 苦労した点と工夫した点

#### 苦労した点

新型コロナウィルスの感染拡大の影響により、一部現地調査や各活動をまたぐ対面の大きな会議が行えず、活動進行に遅れが生じた。

#### 工夫した点

大きなイベントはオンラインを活用し、小さなイベントは参加人数を最小限にすることで、新型コロナウィルス禍での活動を実施した。

〒060-0818  
北海道札幌市北区北18条西9丁目  
北海道大学獣医学部S棟102  
野生動物学教室内 日本クマネットワーク事務局  
HP : <http://www.japanbear.org/>

